

--

番号験

氏名

--

1

問一 与謝(よき)

問二

京都府

問三

イ

a ねんぐ

b 修練

c しょうぶん

d 縁側

e 稽古

言いたい

いや

つには

言わせて

おけばいい

気持ち

ウ

I 真の姿を描こう

II 観察による緻密な頭を働かせての絵

ただ絵をそっくりに写すだけ

楽しい気分 問十 ウ

蕪村の言葉で自分に対して批判から解放され

、忘れていた描き方を思い出し出して晴々とした

気持ち

2

ところがある 問二 千差万別

B 説得力 C 得体系 問四 顕在的

何の目的も持たず暇つぶしに学校に行っている

るから

経済的理由などで親が「教育を受けさせる義務」を果たせていないから。

シャトーペン禁止という校則を、社会のルール

を守らせる練習だと、いうこと

学校で一生懸命勉強すること、将来は一生

安泰だと考えるところ、思ったから

単なる学力以外のものもつといる能力

学校での正しきは、さまざまな方向へと膨張

問十一 初意識的に何

終ことを体得